

2016年5月19日

「Engine Expo 2016」出展のお知らせ

当社は、昨年2015年10月20日～22日に米国で開催された「Engine Expo2015」に続き、5月31日～6月2日までの3日間、ドイツ シュトゥットガルトで開催される「Engine Expo2016」に出展致します。前回の展示会では、現在、急ピッチに進めております大手ターボメーカーとの新素材ターボローターなどの開発基本契約を即座に締結したなど大変、大きな収穫がありました。

今回は、ダウンサイジングターボやディーゼルターボを主流とするドイツ御三家（メルセデス・BMW・アウディ）や世界第2位の販売数を誇るVW社などのお膝元で開催される展示会であり、当社のPIM（パウダー・インジェクション・モールドィング）工法における様々な技術・製品を提案して参ります。

当社が現在注力している自動車部品は以下の5点になります。これらを中心に出展致します。

- ① 新ターボローター：現行のニッケル基超合金の約半分の重量、摂氏1000度以上の耐熱強度を持つ新素材
- ② ターボ周辺パーツの高温化対策：SUSからニッケル基超合金へ⇒精密鑄造品からPIM工法へ（※ディーゼルエンジンのみであったノズルベーンについてポルシェなど一部、ガソリンエンジンでも採用が始まり、高温化対応へのニーズ拡大）
- ③ DBC基板用、高熱伝導率窒化ケイ素（ Si_3N_4 ）放熱板
- ④ ダイヤモンドに次ぐ硬さとされる炭化ホウ素（ B_4C ）の摺動パーツへの採用
- ⑤ 数多く使われる鋼球ベアリングのセラミックス化⇒軽量化、PIM工法によるコストダウン

新素材ターボローター（××合金）

ローター



・耐熱強度向上
・軽量化

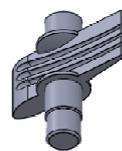


レスポンス
の向上

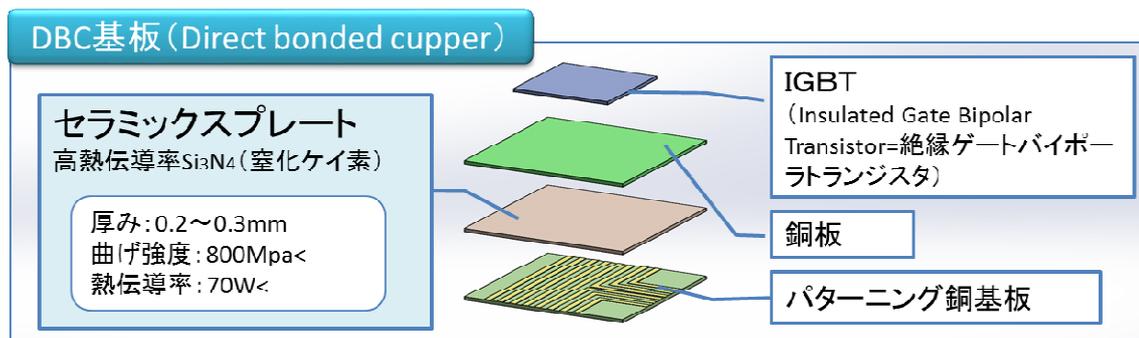
精密鑄造からPIM工法へ

ノズルベーン

ウェイトゲートバルブ



SUSからニッケル基超合金へ



【アテクト出展ブース】

「Engine Expo2016」

No. 3 ホール

小間番号 : 3114

以上